

週報

2021年度 教会標語

「信仰に支えられて、共に生きよう！」

<先週の説教から>

『黙示録 58—千年間の猶予』

イザヤ書 26:14~18 ヨハネの黙示録 20:1~6

今日の聖書の箇所は、昔から多くの人たちに強く影響を与えてきた言葉です。と言うより、昔から多くの人たちを惑わしてきた言葉と言った方が正しいかもしれません。その理由は、この箇所からいわゆる《千年王国説・千年至福説》を強く主張しようとする人たちが多く生まれてきたからです。それはここに「この天使は、悪魔でもサタンでもある竜を取り押さえ、千年の間縛っておき、その上に封印を施して、千年が終わるまで、もうそれ以上、諸国の民を惑わさないようにした。わたしはまた、イエスの証しと神の言葉のために、首をはねられた者たちの魂を見た。彼らは生き返って、キリストと共に千年の間統治した。」とあるからです。この言葉を文字通り採ると、世の終わりが来る前に、殉教者のために千年間の猶予期間が設けられ、イエス様と一緒にこの世界を支配すると予言(預言ではなく)されていると受け取れるからです。この予言を強調することで、信者たちに殉教をすれば必ず報われる、幸せになれる、キリストと共に統治者になれると吹き込み、その宗教団体や教団のために命を差し出すように迫ります。かつて、宗教改革の時代に再洗礼派が千年王国運動を起こして、信者たちに武器を持たせて蜂起させた農民戦争がありましたし、現代でも『現代宗教辞典』(弘文社出版)に拠れば、モルモン教もエホバの証人も「千年王国的運動とされる」と書いています。その指導者たちのためなら、命を奪われることも辞さない熱狂的な信徒たちを生み出すということができるようになるからでしょう。恐ろしいことです。

ヨハネの黙示録全体から見ますと、この千年間の猶予という発想はこの数節のみに登場するものであり、他の聖書にも出てこない事柄です。ただ、ヨハネはずっと彼と同時代に生き、そして殺されて行った殉教者のことを気に掛けてきました。6章10節では、天に於いて「主よ、いつまで裁きを行わず、地に住む者にわたしたち(=殉教者)の血の復讐をなさらないのですか」と叫んでいるとも記しています。まさに、その復讐と共に、短い人生を終えなければならなかった殉教者たちへのご褒美として特別に設定された時がこの千年だとも言い得るのです。いくつか語られている終末に起こる出来

事に加えて、可能性としての一つのバリエーション(=起こるかもしれない変化)と考えられるのではないのでしょうか。

その他にこの箇所の受け取り方として、かつてアウグスティヌスが施していたとされるもので、今のこの時代そのものが《教会の時》としてこの千年に匹敵しているという解釈です。なぜならば、殉教者だけでなく、私たちもこの地上にあって「神とキリストの祭司となって」(6節)いるからだ。この解釈に従えば、ここにある「第一の復活」(5節)とは、《洗礼》によって、古き自分が死んで、新しい生命に生かされるようになったことを指していると理解でき、この理解に立つと、次の「第一の復活にあずかる者は、幸いな者、聖なる者である。この者たちに対して、第二の死(=この世で経験する死)は何の力もない(=復活の生命が与えられるから)」(6節)という言葉がよく理解できるようになるからです。実は、現代の説教者でもこの説を採っておられる方が多くおられるのです。

【今週の集会】

◎聖書研究・祈祷会 I. 6月 23日(水) 20:00
II. 6月 24日(木) 10:30

聖書: エゼキエル書
祈祷主題: 日本基督教団創立 6/24 を覚えて
担当者: (水) 相浦 (木) 佐川
祈る人: 岩井さん 岩井さん

【教勢報告】

主日礼拝	男 25	女 55	計 80
祈祷会 I.	男 5	女 4	計 9
祈祷会 II.	男 4	女 8	計 12
日曜学校	幼稚科 6	小中科 12	計 18

【次週礼拝】 6月 27日(日)

聖書: 詩編 17:1~15
テサロニケの信徒への手紙(1) 5:9~11
説教: 「詩編 17 — 瞳のようにわたしを守り」
武田 真治 牧師

讚美歌: 4、32、564、446、91

【次週当番表】

司式: 相浦長老 奏楽: 須田 礼拝: 金刺長老
献金: 寺本 富澤 受付: 金刺 坂田
会堂準備: 大野 勝村 黒澤 小林
西尾

看板: 中村 週報: 飯島 お花: 飯島

【次週集会予定】 礼拝前: ・求道者会 ・聖書輪読会
・赤熊広場草刈り
礼拝後: ・牧会/礼拝/伝道/教育/社会 各委員会
・改長協委員会

2021年 6月 20日

日本基督教団 上尾合同教会
牧師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33

TEL&FAX 048-771-6549

<http://www.ageo-church.org/>